

# 令和元年度「ともに生きる条例」について理解する職員研修（臨時・非常勤職員） アンケート集計結果

	開催日時	参加者数
①	令和元年12月16日 10:00～	32
②	令和元年12月16日 13:30～	32
③	令和元年12月17日 10:00～	14
④	令和元年12月17日 13:30～	31
参加者総数		<b>109</b>

## 1 業務において障がいのある人に対する合理的配慮を行ったことがありますか？

	ある	ない
①	8	19
②	12	11
③	10	4
④	15	15
合計	45	49

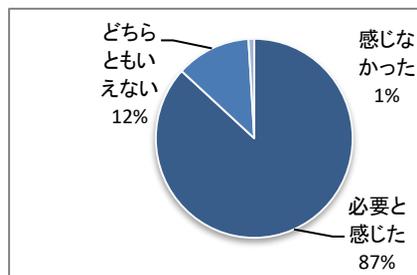
### 【行った合理的配慮の内容】

- ・手続きが苦手な方の対応として、同行し、一緒に手続きを行った。
- ・つえを必要として移動する生徒の階段の上り下りの際、つえの使用及び移動中道路や廊下に障害物はないかの確認etc
- ・音に敏感・・・耳栓etcの使用。
- ・何をするのか・・・文字を書いて分かりやすく伝える等。
- ・建物、トイレの設計において、いつも障がい者にやさしい設計に配慮している。
- ・学校で知的障がい、発達障がいのある子供たちへの支援。
- ・車いすの方に人的介助をしました。
- ・階段を上る際、車いすの障がいのある人の補助を行った。
- ・車いすの方が通行しやすいように通路の椅子を片付けている。
- ・代筆を認める。
- ・代筆、車いすの移動や転倒、介護等。
- ・対面式で話をしていましたが、横並びに座りなおしてお話をしたり、手を軽くさわってリラックスしてもらったりしたことがあります。
- ・視覚障がいの方に詳しく説明する。
- ・車いすや足が不自由な方に店などドアを開ける。
- ・筆談や書類の代筆。
- ・言葉で理解できない子に対して、文（カードに書いたり）絵を書いたりしている。洋式トイレでも大きすぎる子に対して、足おきなど作った。出入口でつまづかないようマット等をおいた。
- ・学校参観に車いすの父兄が来た時に、3階まで何人かで車いすごと抱えて上がった。
- ・私は技術職員なので公的土木施設を設計・施工するにあたりバリアフリー化を実施しました。事例としては歩道の段差会場、点字ブロックの設置、案内板に点字を設ける。亀川駅事由通路を設置し、車いすでも線路を渡り、ホームまで行くことができるようにエレベーターをJRと協議しながら設置しました。
- ・知的障がいのある人に対して、やさしい口調でゆっくり話す、内容を分かりやすく話す、絵に書いて説明する、トラブルに対する内容を細かく相手の気持ちになり説明する。クールダウンに別の所へ連れて行き話す等。
- ・パニックのある人には、クールダウンをさせ、落ち着いてから、次の行動をするようにする。その人が何を必要としているのかよく観察してストレスを少しでも減らせるように支援する。
- ・読み取り困難な児童に対して、別室にてテストの問題の読み上げを行った。

## 2 本研修は必要と感じるものでしたか？

### ① 第1セッション 障害福祉課の説明について

	必要と感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	26	4	0
②	25	4	1
③	12	2	0
④	29	3	0
合計	92	13	1



#### 【理由】

##### 「必要と感じた」

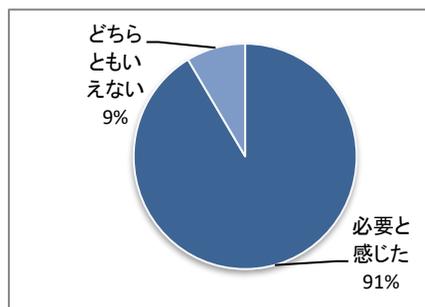
- ・普段障がいに関心がなかったので良かった。
- ・合理的配慮がわかった。
- ・社会的障壁があった場合、差別という言葉が使われる事がわかった。
- ・障がいの種別毎に配慮が必要だと思いました。
- ・条例等、知っているも詳細について薄れてくることがあるので定期的に研修を受けて意識付けるため。
- ・どのような事が配慮になるのか参考になった。
- ・興味をもつきっかけになった。
- ・事例を交えた説明でわかりやすく勉強になった。
- ・合理的配慮の具体的なことがわかりました。
- ・社会的障壁という言葉を初めて知りました。合理的配慮を知ることで今後の対応に役立つと思います。
- ・法律面に詳しくないので。
- ・ともに生きることの大切さ、わかっているも、もう一度知ること考えることができ、短い時間でまとめてくれていました。
- ・条例について知らなかったので知ることができたから。
- ・ともに生きる条例が全国よりも別府が先だったことを知りませんでした。合理的配慮が必要なことは言うまでもなく広く市民にも知ってもらうこと。

##### 「どちらともいえない」

- ・合理的配慮が日々の業務の中で必要であることを認識するための場として必要な研修。
- ・ほぼレジュメ通りで読めば済む内容だった。

### 2② 第2セッション 当事者講師団講義について

	必要と感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	24	7	0
②	28	2	1
③	14	0	0
④	30	0	0
合計	96	9	1



#### 【理由】

##### 「必要と感じた」

- ・内部障がいの方は大変だと思った。
- ・外見上目に見えない内部障がいのある人にとって、偏見の目で見られたくない内面的な悩みは常にある。助け合いの心が必要。
- ・当事者の話を聞く機会を与えていただいて良かった。実際の思いを具体的に聞くことができた。
- ・ハートプラスマークというのを今回初めて知りました。もっと周知することが必要だとおもいました。
- ・障がいのある方の日常での困りや気持ちを直接聞くことで状況をより知ることができました。
- ・身近に感じるため。
- ・本人のお話を聞き、知識が広がりました。
- ・個人の大変な辛さを痛感した。一人になることよりも友人をつくる積極性の
- ・前向きな生き方に聞き入っていました。

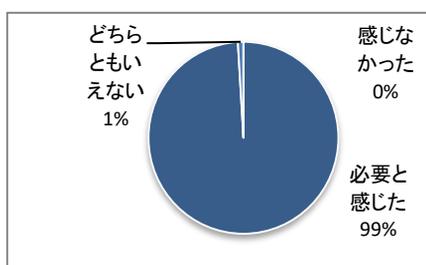
- ・現実的な話が聞いて良かったです。
- ・当事者の言葉は一つ一つ重みを感じ、いい勉強になりました。
- ・本人の話を聞くことは重要だと思う。
- ・足の不自由な方は、すぐにわかり手助けできることはないかと思うことが多いのですが、オストメイトの方などはわからず、少しその方を知ることができ勉強になりました。
- ・内部障がい者ということを知らなかったし、自分達が知っているのは一部なんだと思った。
- ・実情を知らなかったし、精神の障がいに見る限りではわかりにくいので、周りから理解されるのは難しいだろうと思った。
- ・湯沢さんの話を聞いてみたかったので聞くことができて良かった。街中でたまに見かけていたけど、どうい生活をしているの聞いたので良かったです。

### 「どちらともいえない」

- ・体験談から色々な困りが伝わってきたのですが・・・
- ・実体験があまり感じ取れなかった。
- ・こういったところで苦労しているという話は参考になってよかったが、それ以外の話は少々不要だと思えるところが多かった。

## 2③ 第3セクション 体験について

	必要と感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	31	0	0
②	30	1	0
③	14	0	0
④	30	0	0
合計	105	1	0



### 【理由】

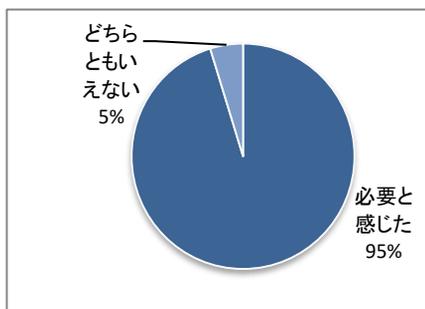
- ・実際に体験しないとわからないから。
- ・自分で体験して困りを感じた。(困っている方の気持ちを少しだが感じる事が出来て良かった。
- ・実際にやってみて大変さが分かったので。
- ・初めての体験でしたが、実際に体験できたことで、少しですが不安な気持ちや戸惑いを理解できた。
- ・数cmの段差でも進むのは難しく、視界がないまま動くのは恐怖を感じました。障がいのある方の不便さが理解できて良かった。
- ・アイマスクを着用しての歩行や文字を書くこと、車いすの体験初めてでした。思った以上に困難でした。体験できてよい勉強になりました。
- ・車いすに乗ることが初めてだったため。
- ・車いすで転倒して危険を感じた。歩くことが不安。
- ・見るより体験ですね。
- ・体験しないとわからないことがあると思うから。
- ・アイマスクでの真っ暗はとても怖く不安なこと、車いすでの段差が上がらない事等体験できて良かった。
- ・体験するとしないでは、今後の対応に役立つと思いますので、ありがとうございました。
- ・自分で経験できる機会があった方が今後の支援に活かせる。
- ・目や足が不自由になった時、不自由な方がどんな思いをしているのかということを深く感じました。
- ・小さな段差くらいと思っていたが実際に行くと全く上がれなかったのでとても大変なんだと分かった。

### 【車いすの体験】

- ・車いすの段差は難しいことがよくわかった。

## 2④ 全体をととして

	必要と感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	28	2	0
②	29	2	0
③	14	0	0
④	29	1	0
合計	100	5	0



### 【理由】

- ・当事者の講話により内部障がい者もいる事がわかった。
- ・知らないことを知ることができた。見えない形の障がい者の困りが少しわかった
- ・差別を解消し、障がいのある人、ない人共に同じように生活する事をいつも感ながら生活していきたい。
- ・この研修がなければ自分から思っただけでも体験することが出来なかった。
- ・理解出来ているようで出来ていないことが多くあったと思いました。
- ・勉強になりました。
- ・普段できない体験ができた。
- ・障がいのある方と接する機会が多くなかったので、こういったことに気をつけられたいかなどが学べた。
- ・研修の必要性を感じました。今後も続けてください。
- ・このような場、必要なと感じ、取り組んでいかねばならないと思いました。
- ・知識として知っているつもりだったが、全く知らないんだと気づけたから。

## 3 研修会で学んだことを今後の職務にどのように取り入れますか。

- ・ヘルプカードを見たら声掛けをして手助けしたい。
- ・困っていたら手をかすのは必要だと感じた。
- ・困りはそれぞれ違うので、一人一人に必要な配慮は何かを考えながら支援をしていきたい。
- ・建物の設計、改修において、差別のない建物に取り組んでいきたい。
- ・研修で学んだことを頭に入れて職務します。
- ・普通ではわからない事が体験できたので、接する時に役立てたい。
- ・今まで以上に子どもたちと向き合い、その特性を理解したうえで、自分に何が出来るのかの考え、よりよい支援が出来るように努力して
- ・目に見えない障がいがあることを知りました。わかっているつもりでも深くは理解出来てなかったと思います。障がいのある人が置かれ況をもっと理解し、何が求められているをこちらも考え、実践していきたいです。
- ・相手の立場になって対応したい。
- ・生活の様々な場面で活用していきます。
- ・分かりやすい言葉選びをしたいと思った。
- ・困っている方を手助けできる気持ちの余裕をもって行動（職務）をしたいと思います。
- ・何でも積極的に挑戦したい。
- ・不自由なことを聞き取り、カバー出来ることにより自分の力で行事ができるように協力させて頂きたいと思います。
- ・内部障がい者の理解の必要性があり業務に必要な時にはよく話を聞く。
- ・相手の方がどういったことで苦勞するかというのをイメージしながら、対応にあたりたいと思いました。
- ・障がいがあってもなくても一緒にスムーズに過ごせるように出来る事はしていきたいと思った。また、何が出来るか、何をすれば良いか行動していきたいです。
- ・災害時での障がい者との対応に社会的障壁を取り除いていきたい。
- ・合理的配慮やその人が望んでいることを見つめられるようになりたい。
- ・全ての人に心からやさしく接する事ができればと思います。
- ・実践できる合理的配慮を例に、自分に何が出来るのかを考え行動できるよう努めたい。
- ・一人一人の人には、隠れていて見えない所が多いです。その人のことを考えると、難しいところばかりですが、話したり、見たりしながら、一人一人の困りに気づき、自分の出来ることは何なのか、声かけの大切さも感じながら過ごしていきたい。困ったことがあったら言える、訴えることのできる環境づくり。

- ・自分の施設には段差等ないので職務等で活かす機会をすぐには思いつかないが、日常生活では活かしていけると思いました。
  - ・窓口対応による場合に通常のパンフレットより、もっと簡単な分かりやすいパンフレットを準備すべきと思う。
  - ・恐れずに接する。
  - ・障がい者には注意して対応したい。
  - ・サービスが受けられないことは単に配慮が足りないだけでなく差別になることを学んだ。手助けを求められる前に準備できるようにし
  - ・お客様のニーズに合わせて臨機応変に対応できればと思う。
  - ・車いすの方に通りやすい道を教える（段差が少ない所等）。目の不自由な方の周りでは配慮する。
  - ・大野さんが「別府が大好きです」と言う言葉がとても重く感じました。全ての人が自分が住んでいるところが好きでと言えるように一人一人が心がけて行動する事が大事だと思いました。
  - ・精神障がいでは見た目では分かり難いところがありそうなので、自己申告があればよいが、ない場合は、この研修の当事者の方の話を出して、差別にならないよう慎重に対応しようと思う。
  - ・普段あまり接する機会のない方々に何をしてあげると助かるのか少し知ることができました。
  - ・担当窓口にいっしょだったお客様だけでなく庁内強いては外においても自然に声かけ、補助できるように努めたいです。それが一部の人のだけでなく、健常者皆が出来るように早くなれば、もっとサービス向上できるようになると思います。
  - ・今まで来庁してきた方に丁寧にしてきたと思っていましたが、体験を通じて全然配慮が足りていなかったことを痛感しました。この研修を生かしてもっと配慮していきたいと思えます。
  - ・先日目の不自由な方と接し、戸惑いを感じた。どういった接し方をすればよいのか再度考えてみたいと思う。
- 目線を合わせることを心掛けたい。
- ・別府市は色々な人が住んでいるので、色々な場面でお手伝い、配慮ができるようにと思えます。
  - ・自分が不自由になってみなければわからないということを経験で痛感しました。
  - ・人との対面や対人関係が苦手や緊張して上手く話せない人に対して、言葉以外に絵や写真、身振り等を交えて分かりやすく話
  - ・自分自身が直接的に行動することと広く周囲に理解を深めることに努めたい。
  - ・目配り気配りで相手の立場になって考えられるよう行動しようと思えます。
  - ・今の自分が突然になったら、とても怖いです。だから知るべきことだと思いました。
  - ・保育所では発達障がいと思われる子どもが増えてきているので、その人に対する合理的配慮をしっかりと考え、実行していきたい。
  - ・いつも一歩引いて見守ることが多かったのでこの経験を生かして積極的に声をかけようと思いました。

#### 4 その他研修全般について、ご意見がありますか

- ・ハートプラス（カード）内部障がいの方を配慮するカードがあることを知りました。まだまだ知らない配慮の必要な方がわかるものや情報を色々な方に知ってもらうことが必要ではないかと感じました。
- ・合理的配慮の実例をもう少し明確にしてもらいたかった。市役所全体での実績等を示してほしい。
- ・先に合理的配慮の説明、障がいのある方が置かれている状況の説明があったので、内容が理解しやすく講師の方のお話も分かりやす
- ・親亡き後の問題について知り、理解を深めたい。
- ・健常者では想像が難しい状況等での対応方法などを学べたらいいと思えます。
- ・学習障害は1クラスに6人程度いると言われているが、市内の小中学校の校長以下、教員がLD等について理解していない。学年ごとに引き継ぎをお願いしたにも関わらず、1年で途絶えていたことを残念に思う。もっと小中学生の苦しみを先生は知るべきだ。
- ・市民課のTVに字幕が出るようにしてほしいそうです。
- ・初めての体験で今まで考えたことがない怖さを知ることができました。障がいのある方が普段生活している中でこんなことを感じながら過ごしているのだなと思えました。
- ・初めての体験でとても良かったです。頭で思うのとは違うと感じました。
- ・楽しく研修ができました。精神の病気の方の苦労は想像もできませんが、私自身何が出来るのか考えてみようと思えました。
- ・車いすに乗る、目が見えないことを体験したが、看護する体験をもう少ししてきた方が、今後の業務に役立てることができのではと思
- ・体験させて頂いて障がいのある方の（私たちが普通に出来ることが出来ないということ）不便さを実感しました。お手伝いできることは市役所の外でもしようと思えます。
- ・障がい者の体験だけでなく高齢者の体験もできればもっと窓口対応が良くなるのではと思えます。